

エリアウェーブ

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2731
FAX 0553-20-2733

回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email : aruga-asvk@pref.yamanashi.lg.jp

習うより慣れろ、慣れたら学べ

社会に旅立つ学生を前にして、私は「習うより慣れろ、慣れたら学べ」と話します。

最初は何事も難しいものです。私自身もそうでした。大学を卒業後、銀行に入行。しかし、そろばん(当時は電卓などありません)は不得意。周りの人の仕事の流れを止めないように、ただひたすら体を動かしていました。

慣れたら、次に学ばなければなりません。しかし、人間とは弱いものです。慣れると流される人も出てきます。わたしもそうでした。懸命に体を動かし職場に慣れたのですが、慣れると怠け心と不満が出てきました。

新人の銀行は毎日が現金の勘定と集金。

「こんなことをするために就職したのかなぁ」

いつしか、仕事が終わると市中を当てもなくぶらつくようになりました。社員寮に帰るのは夜遅く。食事は冷め切っていて、みんなが入った後の風呂場は雑然としています。自分が惨めに感じられました。

支店長から「寮の帰りが遅いぞ」と注意されます。しかし、「寮の管理人はソナなことで報告するのか」と逆切れ。「やめてやる」と思ったとき、年配の係長が声をかけてくれました。

「きみはこの頃、しょっちゅう遊んで帰っているようだけど、結婚したら勉強もできなくなる。

今のうちに勉強しとけよ！」そう言って、銀行実務の本を紹介してくれました。



「こんな本をじっくり読める機会はなかなかないぞ」その言葉の背景に「キミはこのままで終わる人間ではない」という思いが込められていました。

そう言えば、酔っぱらって友人と繁華街を歩いていたとき、手相見のおばさんから「あんたは将来、世に出る。現実に負けて、飲んでいたらダメ」と諭されたことも思い出されました。

二つの言葉が胸にストーンと落ちました。今、思い返すと「このままでいけない」と自分自身、感じ始めていた時期だったような気がします。

思いを改めました。終業後は寄り道せずに寮に戻り、一番風呂に入り、温かい食事をいただきます。すると不思議なものです。風呂は綺麗だし、食事もうまい。寮生活は快適だ、と今までとは違う感想をもてるようになったのです。食事が終わると部屋にこもって勉強。体が勝手に動くほどに実務を経験した上での勉強です。大学の授業とは違って、しっかりと知識が身に付いていくことが実感できました。

石の上にも三年、という諺があります。若い君たちは、何事もすぐに投げだすことなく、「習うより慣れろ、慣れたら学べ」を実践してください。

大阪経済大学理事

勝田 泰久氏より

(PHP5月掲載)



ミュージカルに挑戦!

赤尾保育園

2月6日、赤尾保育園(甲州市)にて、絵本翻訳家、みらいななさんを招き、保護者研修会が開催されました。年長組21名が「葉っぱのフレディ~いのちの旅~」を題材にしたミュージカルを保護者に向けて披露しました。

子ども達は自分で描いた葉っぱを髪に飾り、元気よく堂々と朗読し、最後にフレディの気持ちを大きな声で、歌に乗せて発表しました。



「ミリオンセラーとなったこの作品は、今年で出版15年を迎えましたが、保育園児がミュージカルを演じるのはこれが

初めて。私が塩山にいたからこそ生まれたこの作品を誇りに思っていて欲しい。」みらいさんも同作品を朗読し、地元への熱い思いを語りました。「命はいつまでも永遠に生きているんだよ。」「葉っぱの一人一人に得意なものがあるんだよ。」参加者はフレディに込められた大切なメッセージに、心打たれました。

中学3年生の皆さんへ

~高校で失敗しないヒント~

今までの成果が実り、見事、前期入試で合格を決めた中学3年生、おめでとうございます。後期入試に向けて頑張っているあなた、ここから悔いを残さない毎日を過ごしてください。

どうでしょう。中学校3年間はあっという間ではありませんでしたか。実は、高校3年間はまだもっと早く過ぎていきます。そして、18歳になると、いよいよ制服とお別れする時がやってきます。それは、皆さんにとって人生の大きな転機となるでしょう。その時に自身の進路を決定し、新たな一歩を踏み出せるように、高校で失敗しないヒントを今日はお話しします。

今は高校0(ゼロ)学期!

実はもう高校時代は始まっています。高校生活のスタートは4月ではありません。高校の授業は、中学3年生までの学習内容はすべて理解されているという認識の下で、行なわれます。もし中学校までの学習に不安がある人は、すぐに復習すべきです。小学校まで立ち返ってもよいのです。いえ、わからない人は今すぐ立ち返るべきです。スタートラインより後ろから走り始めても、勝負にはなりません。

規則正しい生活で健康UP!・学力UP!

おもしろい調査結果があります。「週日と休日の生活時間が同じ生徒の方が、学業成績が良い」そうです。休日の夜更かしは成績を下げます。また、人間は今聞いたことを1日たてば74%忘れてしまうそうです。それを避けるためには、24時間以内にもう一度、それに触れる(復習する)ことです。帰宅後、決まった時間に学習することには、大きな意味があるのです。



真の高校生になろう!

色々な人と話そう!

今、企業が学生に一番求めている力は、「コミュニケーション力」です。どんなに成績が良くても、技術を習得したとしても、人と話す力がないと、社会人として通用しません。親と、先生と、隣のおじさんと、見知らぬ人と、きちんとした日本語で話すことができますか?自分の気持ちを自分の言葉で、伝えることができますか?「コミュニケーション力」は日々の訓練で、身につけることができます。

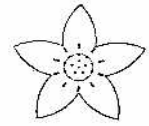
目標は高く!

80点を目指していると、80点は取れません。100点を目指さないと、80点は取れません。見事に進路を決定した先輩達は、これにこだわった人達です。「このくらいでイヤ」は「このくらいの幸福感」しか得られません。努力し苦労した経験こそ、その後の人生を乗り切るエネルギーとなります。

さあ、高等学校へ行こう!そして、次の進路を決めよう!中学3年生の皆さんを応援しています。



山梨県立ろう学校



昭和36年校旗樹立

校章「やまなし」の花

本校は幼稚部・小学部・中学部・高等部の4つの学部と支援教育部からなる、県下で唯一の聴覚障害教育専門の学校です。支援教育部では、早期教育と通級による指導及び教育相談を行っています。また、異年齢の仲間との集団生活を通して様々な経験ができる寄宿舎もあります。本校は各学部および寄宿舎において学校間における交流教育(学校間交流)と地域における交流活動(地域交流)を行っています。今回は、各学部の地域交流の活動を報告します。

【 幼 稚 部 】

提携先 - 山梨陶磁会

幼稚部では山梨陶磁会と一緒に親子陶芸教室を行っています。子どもたちの発想を大切にしながら、どのように陶芸に楽しみ、表現していくのか子どもたちや保護者にも丁寧に指導していただきました。



【 小 学 部 】

提携先 - 山梨市立養護老人ホーム「晴風園」

小学部では今年度7回の交流会を実施しました。

1、2年生の交流では、お年寄りの方と大根の種まきや収穫、切干大根作りと年間を通して活動してきました。また、全学年で敬老の日に合わせて晴風園を訪問し、児童会が中心となって計画したメッセージカードや歌、入居者の方が日頃行っている体操と一緒にいき、楽しくふれあうことができました。



【 中 学 部 】

提携先 - JA フルーツ山梨加納岩支所

総合的な学習の時間の中で、地域学習の一環として、JA フルーツ山梨の方に地域産業の現状や仕事の厳しささしさについて話を聞き、現地で桃の摘果や袋かけ作業の体験を行いました。また、共選所では、箱詰めや箱折り等の出荷作業を通して、作業内容や商品を扱う仕事の厳しさを学び、一つ一つの作業が大切であることを学習することができました。箱も大切な商品であることや、暑い中での立ち仕事の厳しさを知る機会となりました。



【 高 等 部 】

提携先 - 山梨クリナーズ

山梨授産園

山梨陶磁会

山梨授産園の方々と一緒に、山梨陶磁会会長の指導を受け陶芸教室を行いました。完成した作品を見合うなど、作品を介した交流ができました。また、山梨クリナーズとの交流では、職業体験として、クリーニング作業を行いました。互いに協力し合い、仕事にあたっている様子が見られました。



【 寄 宿 舎 】

提携先 - 手話サークル『ふえふき』

大野地区

手話サークル『ふえふき』との交流では、スポーツやサイコロトークなどゲームを通して様々な話ができ、和気あいあいと楽しい雰囲気での交流会を行うことができました。また、今年度は舎生が入選した詩を発表する場を設け、サークルの方々に聞いていただくことができました。

大野地区との交流は、今年度もゲートボールを通して交流会を行う予定でしたが、天候等の理由で中止となりました。



◇◇◇ 地域教育推進事業を振り返って ◇◇◇

本年度、地域教育推進業務として次のようなものがありました。

- 峡東地域教育推進連絡協議会の運営
- 保幼、小、中、高、特支、大学の連携推進
- 子育て・連携・人権のための講演会の開催と「講演録」の発行
- 子育て支援の推進
- 中・高インターシップ事業の推進
- 小・中学校へのキャリア教育の啓発
- 教育相談窓口の開設
- 地域教育情報誌「エリアウェーブ」の発行・配布
- 「地域教育連携活動紹介誌」の調査・作成準備
- 「峡東地域生涯学習ボランティアバンク登録者一覧」の登録確認
- 学校、保育所、幼稚園、他機関等の訪問による地域教育活動連携推進の啓発
- 「あいさつ運動」の推進、生活習慣確立の推進等
- 知事部局出先機関、地域の諸機関との連携



これらの業務のうち主なものをあげながら、1年間を振り返ってみたいと思います。

峡東地域教育推進連絡協議会の運営

総会 平成25年6月27日(木) 参加者52名 (山梨市民会館)

- 平成24年度事業報告、平成25年度役員選出・事業計画について承認されました。

実務者会 平成26年度1月16日(木) (東山梨合同庁舎内)

- 総会及び3回の講演会については、参加者アンケートの示す通り効果的に開催できました。また、地域の教育力を高めるためにも峡地連の組織的活動は必要であるなど肯定的な意見を得ることができました。一方、「講師は大学の先生ばかりでなく、一般の保護者でもいい人がある。」「講演会の曜日や時間帯の配慮をして欲しい。」などの要望も出されました。

子育て講演会・連携セミナーの開催

子育て講演会

平成25年6月27日(木)

山梨市民会館

「子育てはコミュニケーションから」

～子どもの気持ちを聞く接し方～

講師 藤森 晴江 氏

(親業訓練インストラクター)

参加者 130名

保幼・小・中連携セミナー

平成25年8月8日(木)

甲州市民文化会館

*小グループでの話し合い

「交互交流による連携を求めて」

～保幼・小・中のよりよい連携を探る～

講師 文珠 紀久野 氏

(山梨県立大学 教授)

参加者 112名

人権のための講演会

平成25年11月28日(木)

いちのみや桃の里ふれあい文化館

「子どもの笑顔を取り戻そう！」

～いじめ・不登校・ひきこ

もり解決とネットワー

ク～

講師 黒田 浩司 氏

(山梨英和大学 教授)

参加者 105名

保幼・小・中の連携

保幼・小・中の連携の必要性から、連携セミナーを行いました。地域ごとに保幼・小と小・中の職員の話し合いから、地域の実態に即した具体的な話し合いをすることができました。

地域の子育て支援推進

「子育て支援リーダー・ステップ・アップ養成講座」では、子育て支援に関わる課題について臨床的に解決するために、ワークショップ形式を用いた研修を行いました。子育て支援リーダーとして、地域ぐるみの子育てを実現できるよう今後も支援していきたいと思えます。

地域教育情報誌「エリアウェーブ」の発行

年間で8回発行し、管内の保幼・小・中・高・特・大、教育関係機関、県庁関係課等へ配布しました。今年度は思うように取材に行くことが出来ず、地域や取り上げた機関に偏りが出てしまったことをお詫び申し上げます。今後も情報誌を発行していきますので、子育て支援の様子や各園・所・学校の活動の様子、地域での取り組みなど多方面からの情報をお寄せ頂ければ幸いです

1年間、ご愛読いただき、ありがとうございました。